

平成20年岩手・宮城内陸地震に係る被災宅地危険度判定活動について

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震によって被害を受けた栗原市内の宅地について、平成20年6月20日に被災宅地危険度判定を実施した。

地震の概要

地震発生時刻：平成20年6月14日 8時43分

発生場所：北緯39度01.7分 東経140度52.8分 深さ8km

マグニチュード：7.2

最大震度：震度6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)

人的被害：死亡10人 行方不明8人(平成20年8月4日現在 宮城県内分)

住宅被害：

	全壊	半壊	一部損壊	計
栗原市	30	119	1,264	1,413
その他	1	3	90	94
計	31	121	1,354	1,507

栗原市内の被害件数は平成20年8月19日栗原市発表による

非住宅被害：

	公共	その他	計
栗原市	10	1	11
その他	35	1	36
計	45	2	47

地震発生から判定までの経緯

平成20年6月14日 地震発生

被災建築物応急危険度判定活動 開始

平成20年6月17日 被災建築物応急危険度判定活動 終了

平成20年6月18日 栗原市と被災宅地危険度判定の実施について打ち合わせ

平成20年6月19日 栗原市より被災宅地危険度判定の実施要請

県より被災宅地危険度判定士への派遣要請

平成20年6月20日 被災宅地危険度判定活動

判定人員等

	判定員	本部支援要員	計	内、判定士
宮城県	10	4	14	10
市町村(白石市,仙台市,石巻市,多賀城市)	25		25	24
(社)全国宅地擁壁技術協会東北支部	9		9	9
仙台市宅地安全協議会	9		9	9
計	53	4	57	52

判定員は17班に分かれて活動

判定宅地の選別方法

被災宅地危険度判定に先行して実施された、被災建築物応急危険度判定の結果をもとに選別。

被災建築物応急危険度判定により、宅地に関して中被害・大被害があると報告された宅地と、住民等から要望のあった宅地を対象とした。

判定活動の流れ

平成20年6月19日	9時00分頃	栗原市より派遣要請
	10時00分頃	派遣依頼先の選定、活動に係る資機材の準備開始
	11時00分頃	派遣依頼先への打診
	15時00分頃	判定士人員確定
平成20年6月20日	8時30分	栗原市ふるさとセンター（判定本部）集合
	8時30分～	判定活動に関する説明
	9時00分～	判定 開始
	14時00分～	判定結果 取りまとめ
	18時00分頃	本部 撤収

判定結果

宅地の判定結果（総合判定）

危険宅地	要注意宅地	調査済み宅地	計
31箇所（37%）	21箇所（25%）	31箇所（37%）	83箇所

擁壁、宅地地盤及びのり面・自然斜面ごとの被害程度（個別判定）

	擁壁	宅地地盤	のり面・自然斜面	計
危険度大	24箇所（44%）	2箇所（2%）	12箇所（41%）	38箇所
危険度中	20箇所（36%）	8箇所（10%）	8箇所（28%）	36箇所
危険度小	11箇所（20%）	71箇所（88%）	9箇所（31%）	91箇所
計	55箇所	81箇所	29箇所	165箇所